

「食に関するアンケート調査」結果

県民の「食」についての考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

1 アンケート調査の実施時期 平成26年10～11月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター(郵送によるアンケート調査) 282人
 (2) インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査) 98人
 合計 380人

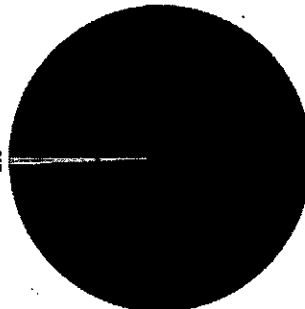
3 回答数

(1) 一般モニター(郵送によるアンケート調査) 226人(回答率 80.1%)
 (2) インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査) 58人(回答率 59.2%)
 合計 284人(回答率 74.7%)

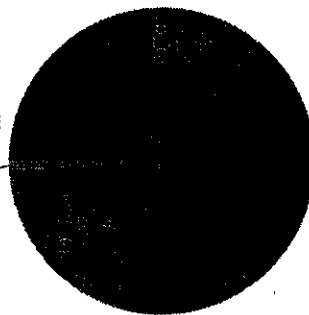
※集計結果は、合計を100%にする端数処理の関係上、1%未満の範囲で異なっているケースがあります。

【回答者の性別、年齢】

不明 2名
1%



不明 20歳代 3名
1%



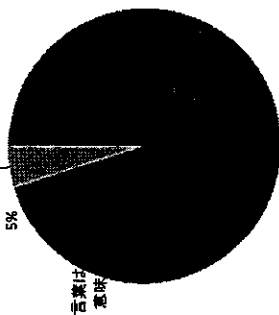
食育について

食育とは「食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」こととされています。

【問1】あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(回答者 283名)

「食育」という言葉を知っている人は、全体の95%でした。
 一方、「食育」の意味を知らない人は、全体の34%でした。

言葉も意味も知らなかった 14名
5%



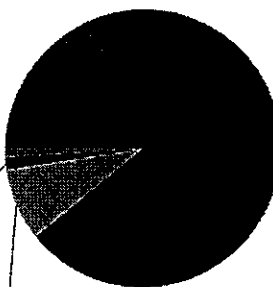
【問2】あなたは「食育」に関心がありますか。(回答者 283名)

「食育」に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた人は、全体の89%でした。

関心がない 4名
1%

どちらかといえば関心がない 24名
9%

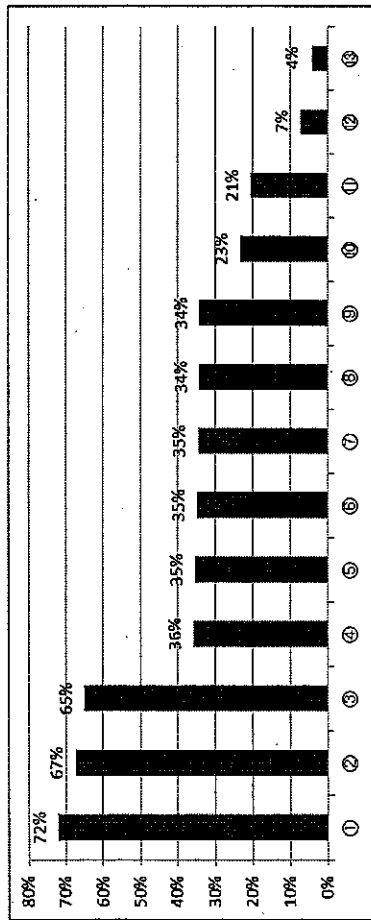
わからぬ 3名
1%



【問3】あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。

【問2】「関心がある」「どちらが」といえば関心がある」と答えた人に聞きました。
(複数回答、対象者 252名)

「子どもの心身の健全な発育に必要なから」との理由が一番多く回答者の72%であり、次いで、「生活習慣病の増加が問題になっているから」167%、「食生活の乱れが問題になっているから」165%の順になっています。

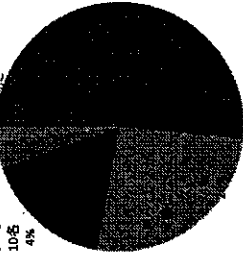


①	子どもの心身の健全な発育のために必要だから	182名
②	生活習慣病(がん、糖尿病など)の増加が問題になっているから	170名
③	食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事など)が問題になっているから	164名
④	有機農業※2など自然環境と調和した食料生産が重要だから	90名
⑤	食中毒防止や食品への異物混入対策など、食品の安全確保が重要だから	89名
⑥	食品ロス(※1)の削減が必要だと思うから	88名
⑦	自然の恩恵や食に対する感謝の念がうすれているから	87名
⑧	食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから	86名
⑨	大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから	86名
⑩	食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから	59名
⑪	肥満ややせすぎが問題になっているから	52名
⑫	消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから	18名
⑬	その他	11名

【問4】あなたは日頃から、健全な食生活を行うために何らかの「食育に関する活動」をしていますか。(回答者 283名)

「積極的にしている」「できるだけしている」と答えた人は、全体の51%でした。

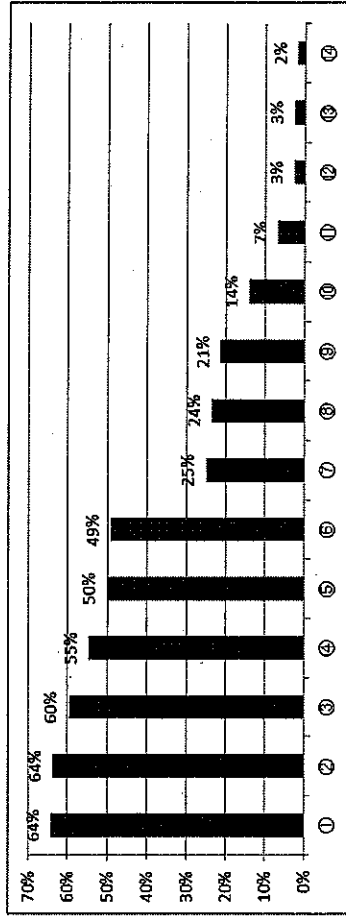
積極的にしている 51%
できるだけしている 4%
どちらでもない 10%
していない 27%
わからない 4%



【問5】あなたはどのような「食育に関する活動」をしていますか。

【問4】で「積極的にしている」「できるだけしている」のようにしている「したい」と思っているが、実際にはしていない」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 220名)

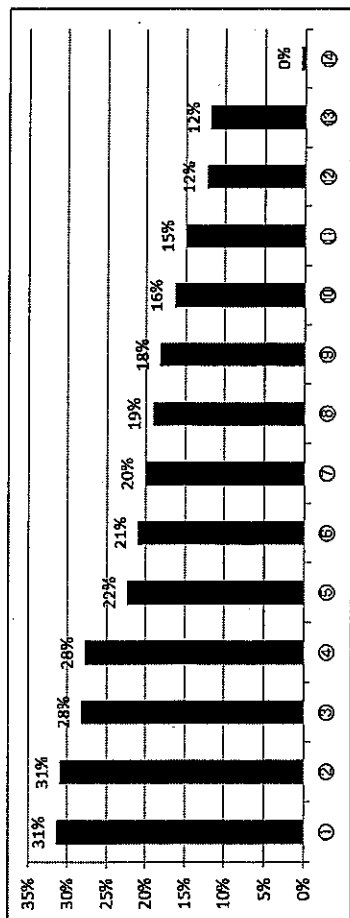
1. 積極的にしている、あるいはできるだけできるようにしている
「家族で食事をとる」「自分で食品を選んだり、料理を作る」が64%と一番多く、次いで、「栄養バランスのとれた食生活の実践」60%の順になっています。



①	家族で食事をとる	141名
②	自分で食品を選んだり、料理を作る	140名
③	栄養バランスのとれた食生活の実践	131名
④	より安全な食品の購入	120名
⑤	地元産の積極的な使用	110名
⑥	自分にとっての賢い食習慣を理解	108名
⑦	食品廃棄物の発生抑制や再生利用に関する理解の向上	55名
⑧	郷土食など食文化の継承	52名
⑨	食料自給状況に関する理解の向上	47名
⑩	農業生産・加工活動への参加・体験	31名
⑪	食生活の改善に関する勉強会への参加	15名
⑫	食に関する伝統行事への参加	6名
⑬	食に関わるボランティア活動への参加	6名
⑭	その他	4名

2. したいと思っているが、実際にはしていない

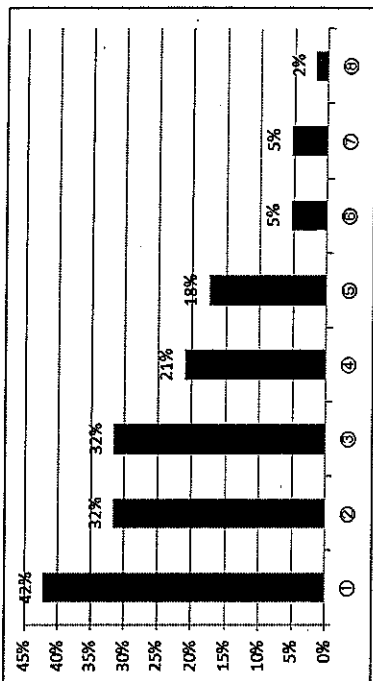
「食に関する伝統行事への参加」「食生活の改善に関する勉強会への参加」が31%と一番多く、次いで、「農業生産・加工活動への参加・体験」「食に関わるボランティア活動への参加」28%の順になっています。



① 食に関する伝統行事への参加	69名
② 食生活の改善に関する勉強会への参加	68名
③ 農業生産・加工活動への参加・体験	62名
④ 食に関わるボランティア活動への参加	61名
⑤ 郷土食など食文化の継承	49名
⑥ 食料自給状況に関する理解の向上	46名
⑦ 自分にとっての美味しい食習慣を理解	44名
⑧ 食品廃棄物の発生抑制や厚生利用に関する理解の向上	42名
⑨ 栄養バランスのとれた食生活の実践	40名
⑩ 地元産の積極的な使用	36名
⑪ より安全な食品の購入	33名
⑫ 自分で食品を選んだり、料理を作る	27名
⑬ 家族で食事をとる	26名
⑭ その他	1名

【問6】 あなたが「食育に関する活動」をしていない理由は何ですか。

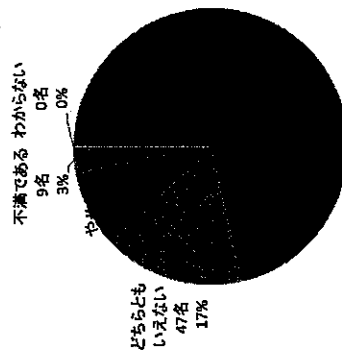
【問4】で「あまりしていない」「したいとは思わないし、していない」と答えた人に聞きまし
た。(複数回答、対象者 58名 うち無回答 1名)
「食育に関する活動」をしていない理由として、「仕事や趣味等で忙しいから」と答えた
人が一番多く42%でした。



① 仕事や趣味等で忙しいから	24名
② 食費を安くすることの方が重要だから	18名
③ 特に意識しなくても問題はないから	18名
④ 「食育」についてよく知らないから	12名
⑤ 活動や行動をしたと思うが、情報の手手ができないから	10名
⑥ 自分や家族の食生活や食育に関心がないから	3名
⑦ その他	3名
⑧ わからない	1名

【問7】 あなたは現在の食生活にどの程度満足していますか。(回答者 281名)

現在の食生活に「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた人は、全体の71%でした。



【問8】 あなたは、日頃の食生活での悩みや不安がありますか。(回答者 277名)

「悩みや不安を感じている」と答えた人は、全体の

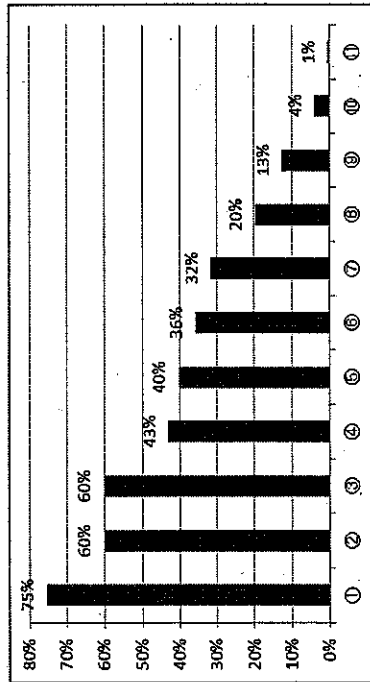
54%でした。

一方、「悩みや不安を感じていない」と答えた人は、全体の44%でした。



【問9】 悩みや不安を感じているのは、どのようなことについてですか。

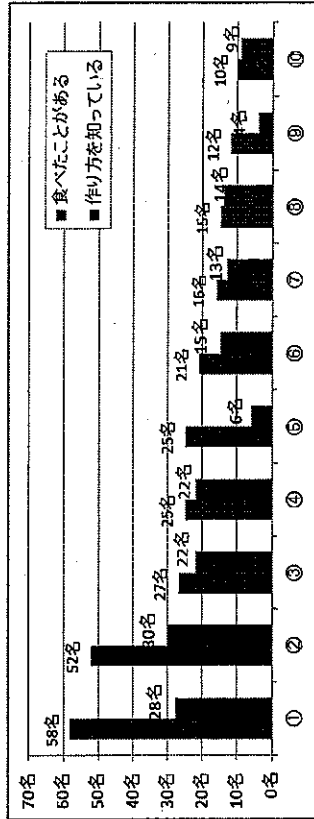
【問8】で「悩みや不安を感じている」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 161名)
「食品の安全性について」が75%と一番多く、次いで、「家族の健康について」「自分の健康について」60%の順になっています。



① 食品の安全性について	114名
② 家族の健康について	91名
③ 自分の健康について	91名
④ 自分の食生活上の問題について(栄養バランスの偏り、不規則な食事等)	65名
⑤ 家族の食生活上の問題について(栄養バランスの偏り、不規則な食事等)	61名
⑥ 家計や食費について	54名
⑦ 将来の食料供給について	48名
⑧ 食文化の継承について	30名
⑨ 食に関する情報の氾濫について	19名
⑩ その他	6名
⑪ わからない	1名

【問10】 山梨県の郷土食(伝統食)として、「ほうとう」の他に何か知っていますか。また、その食品を食べたこと、作ったことがありますか。

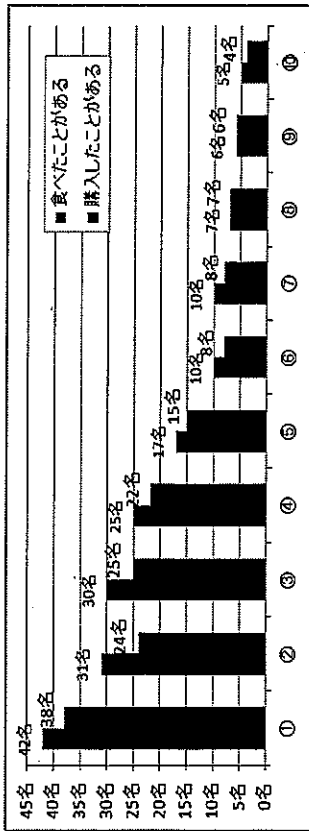
山梨県の郷土食(伝統食)として、419件、75種類の回答がありました。食べたことがある郷土食(伝統食)は、『吉田のうどん、鳥もつ煮、すいとん、みみ、鮎の煮貝』が上位となりました。



① 吉田のうどん	② 鳥もつ煮	③ すいとん	④ みみ	⑤ 鮎の煮貝	⑥ おざら	⑦ せいだのたまじ	⑧ おつくだんご	⑨ 子しろ柿(あんぼ柿)	⑩ 小豆(なほうとう)
----------	--------	--------	------	--------	-------	-----------	----------	--------------	-------------

【問11】山梨県の特色のある食材を知っていますか。食べたこと、購入したことがありますか。

山梨県の特色のある食材として、334件、81種類の回答がありました。知っている食材としては、『八幡芋、ぶどう、桃、大塚人参、浅尾大根』が上位となりました。

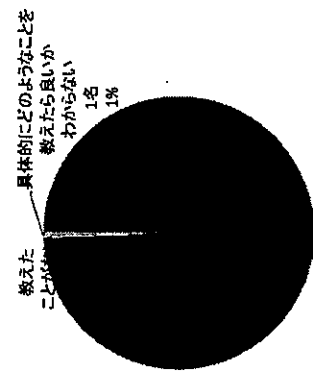


①	八幡芋	②	ぶどう	③	もも	④	大塚人参	⑤	浅尾大根	⑥	あけぼの大豆	⑦	ワイン	⑧	ワインビーフ	⑨	青もつ	⑩	河口湖シラス
---	-----	---	-----	---	----	---	------	---	------	---	--------	---	-----	---	--------	---	-----	---	--------

【問12】これまでにあなたの子ども、あるいは孫に食事のマナー（例：正しい箸の使い方など）について、教えたことがありますか。

現在、中学生以下の子ども、あるいは孫がいる人に聞きました。

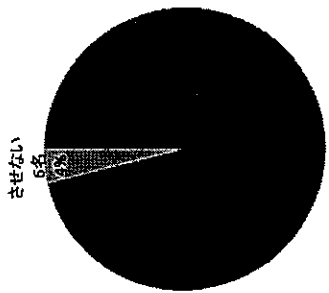
（回答者 151名）
子どもや孫に正しい食事のマナーを「教えたことがある」と答えた人は91%でした。



【問13】日頃、あなたの子どもあるいは、孫に食事の準備や片付けなどを、手伝わせることがありますか。

現在、中学生以下の子ども、あるいは孫がいる人に聞きました。

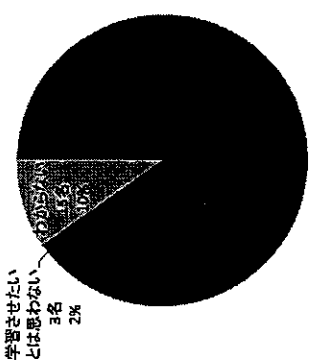
（回答者 153名）
子どもや孫に「食事の準備や片付けなどを「いつも手伝わせる」と答えた人は67%でした。



【問14】現在、あなたの子ども、あるいは孫に、土や自然にふれる農業体験や家畜に親しむ体験学習等をさせたいと思いますか。

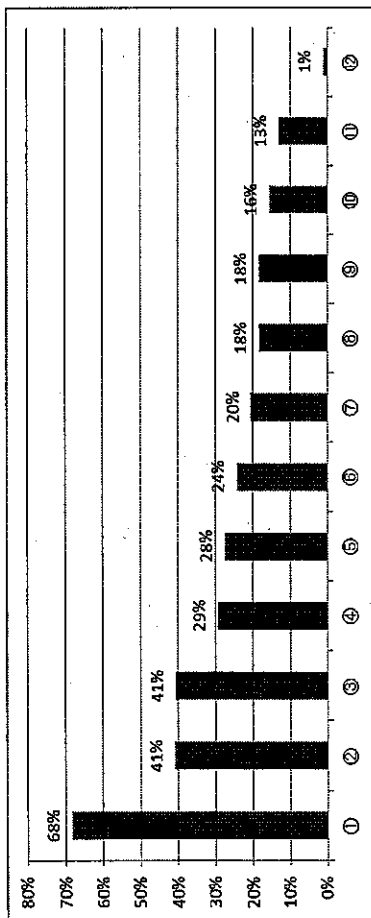
現在、中学生以下の子ども、あるいは孫がいる人に聞きました。

（回答者 152名）
子どもや孫に「農業体験や家畜に親しむ体験等を「学習させたいと思う」と答えた人は88%でした。



【問15】あなたは、今後の「食育」では、どのようなことが重要だと考えますか。
(3つ選択、回答者 283名)

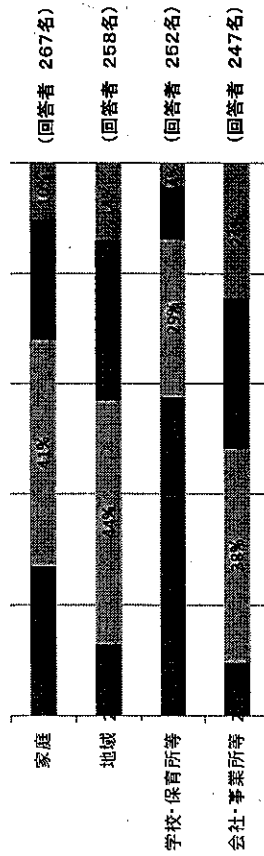
「栄養バランスのとれた食事の実践」が193名と最も多く、次いで、「食卓を囲む家族団らんの実践」116名、「規則正しい食生活リズムの実践」115名の順となりました。



①	栄養バランスのとれた食事の実践	193名
②	食卓を囲む家族団らんの実践	116名
③	規則正しい食生活リズムの実践	115名
④	農業への理解や食への感謝の気持ちを育てる	83名
⑤	おいしさや楽しさなど食を通じた心の育成	78名
⑥	安全な食料を正しく選択できる能力の育成	69名
⑦	食育の正しいマナーや作法などの習得・教育	58名
⑧	地域産産物や旬の食材などの知識の習得	52名
⑨	食べ残しや食品の廃棄をなくす	52名
⑩	調理方法の習得	44名
⑪	地域性や季節感のある食事、行事食の実践	37名
⑫	その他	3名

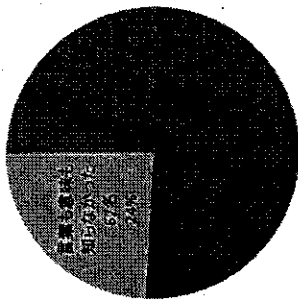
【問16】社会のさまざまな現場で、食育がどの程度実践されていると思いますか。

「学校、保育所等」で実践されていると答えた人が58%と最も多く、次いで、「家庭」27%でした。一方、「地域」と答えた人は12%、「会社、事業所等」は10%でした。



【問17】あなたは、食事の望ましい組み合わせやおおよその量をわかりやすくイラストで示した「食事バランスガイド」を知っていましたか。(回答者 277名)

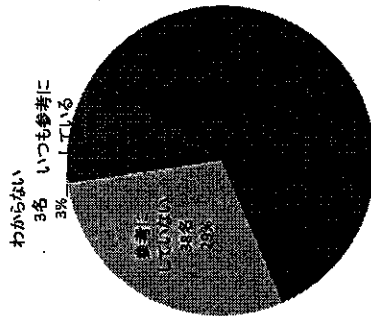
「食事バランスガイド」の言葉を知っていた人は、全体の76%でした。
一方、「食事バランスガイド」の意味を知らなかった人は、全体の53%でした。



【問18】「食事バランスガイド」等を参考にしたら栄養バランスを考えた食生活を送っていますか。

【問17】で「食事バランスガイド」の言葉も意味も知っている」と答えた人に聞きました。(対象者 130名)

「食事バランスガイド」等を参考に生活を送っていると答えた人は、全体の68%でした。



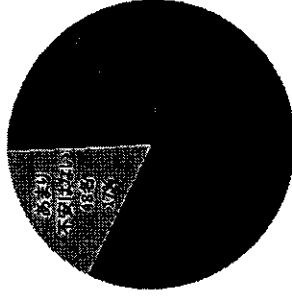
食の安全・安心について

【問1】 あなたは食品を購入する際、どのような点を重視していますか。
重視する順番をご記入ください。
(回答者 280名。複数の項目を1位とした回答もあるため、回答数は286名)

農産物を購入する際、1位に重視する項目として「鮮度」「安全性」と答えた人は、それぞれ全体の33%でした。

味 その他
11名 3名
4% 1%

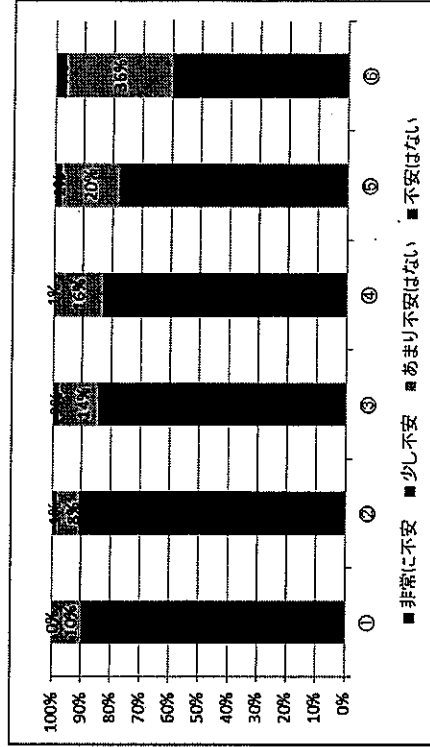
産地
40名 14%



食品の安全性について、「非常に不安」「少し不安」と答えた人は、全体の82%でした。

【問4】 あなたは次のことについてどうお考えですか。

不安を感じる項目としては、「農産物の残留農薬」「輸入食品」「放射性物質」の順に高くなっています。

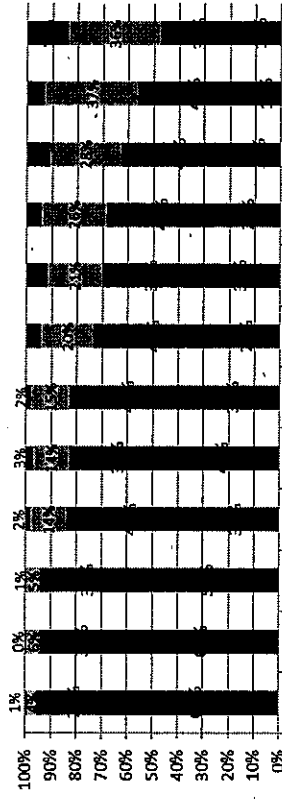


①	農産物の残留農薬	282名	②	輸入食品	277名	③	放射性物質	279名	④	食品添加物	280名	⑤	遺伝子組換え食品	280名	⑥	いわゆる健康食品	279名
---	----------	------	---	------	------	---	-------	------	---	-------	------	---	----------	------	---	----------	------

(数字は、回答者数)

【問2】 あなたは食品を購入する際、次のことをどの程度、意識していますか。

食品を購入する際、「輸入品の原産国」「国産品・輸入品の別」「消費(賞味)期限」の項目は、90%以上の人が意識していました。



■1 かなり意識している ■2 少し意識している ■3 あまり意識していない ■4 意識していない

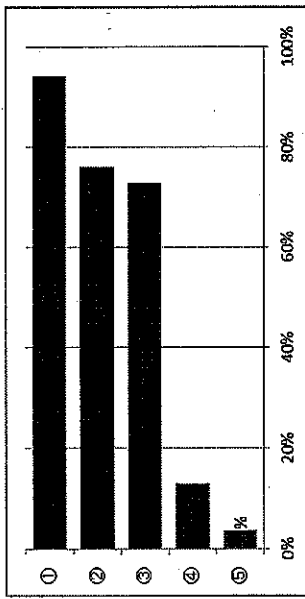
①	輸入品の原産国	281名
②	国産品か、輸入品か	280名
③	消費(賞味)期限	279名
④	農産物(野菜や果物など)における農薬の使用	280名
⑤	加工食品の原料原産地	280名
⑥	加工食品の原材料	279名
⑦	加工食品の食品添加物の種類	279名
⑧	加工食品の遺伝子組換え食品使用の有無	281名
⑨	国産品の産地	280名
⑩	地元(山梨県産)であること	281名
⑪	水産物(魚介類や海藻類など)における養殖、天然の別	280名
⑫	加工食品にアレルギー物質を含むかどうか	279名

(数字は、回答者数)

【問5】 輸入食品のどのようなことに不安をお持ちですか。

【問4】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。

(複数回答、対象者 252名 うち無回答 6名)

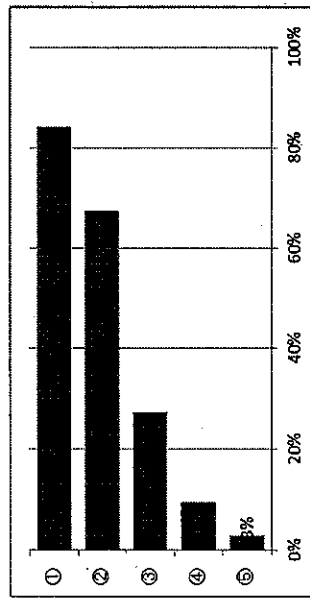


① 原産国の生産・衛生管理が良くないのではないか	232名
② 指定外添加物や基準を超える残留農薬が検出されている	187名
③ 残留農薬などの検査が不十分ではないか	179名
④ なんとなく不安	32名
⑤ その他	9名

【問6】 農産物の残留農薬のどのようなことに不安をお持ちですか。

【問4】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。

(複数回答、対象者 252名 うち無回答 2名)

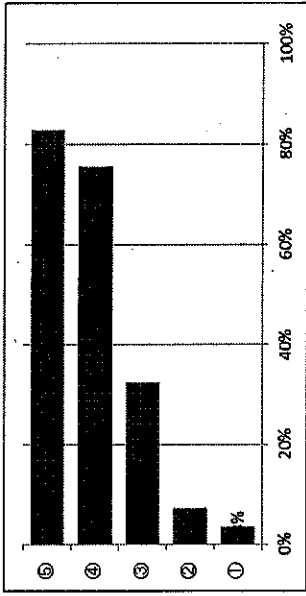


① 農薬の使用基準が守られているか	212名
② 残留農薬の検査が不十分ではないか	170名
③ 農薬を使用すること自体が不安	69名
④ なんとなく不安	24名
⑤ その他	7名

【問7】 食品添加物のどのようなことに不安をお持ちですか。

【問4】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。

(複数回答、対象者 233名)

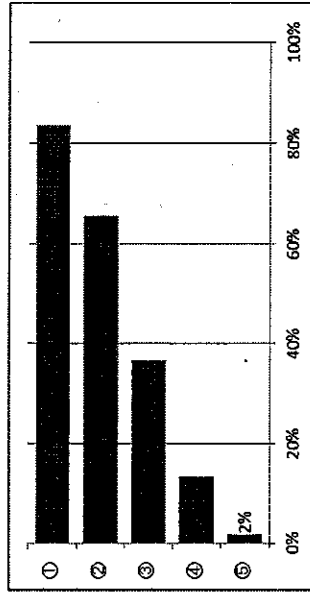


① 使用基準が確実に守られているか	193名
② 使用が認められていない食品添加物が使用されていないか	176名
③ 食品添加物を使用すること自体が不安	76名
④ なんとなく不安	17名
⑤ その他	8名

【問8】 遺伝子組換え食品のどのようなことに不安をお持ちですか。

【問4】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。

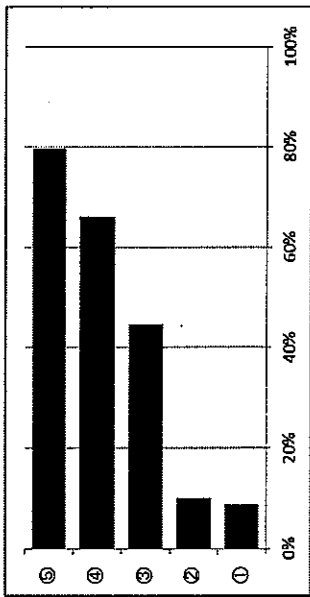
(複数回答、対象者 218名)



① 長い間食べ続けて大丈夫かという審査が不十分ではないか	182名
② 遺伝子組み換えのものが人体に対して影響がないか	143名
③ アレルギーを起こすのではないか	80名
④ なんとなく不安	29名
⑤ その他	4名

【問9】 いわゆる健康食品のどのようなことに不安をお持ちですか。

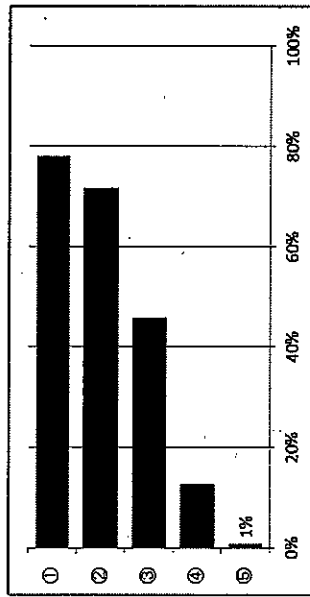
【問4】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 168名)



① 健康に本当に良いものなのか	184名
② 表示されているものが本当に入っているのか	111名
③ 属した栄養の摂取にならないのか	75名
④ なんとなく不安	17名
⑤ その他	15名

【問10】 食品中の放射性物質のどのようなことに不安をお持ちですか。

【問4】で「非常に不安」「少し不安」と答えた人に聞きました。(複数回答、対象者 236名)

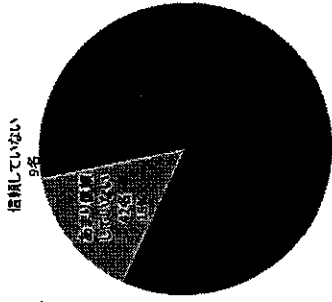


① 将来的に子どもなどへの影響が出ないのか	184名
② 安全な食品だけが販売されているのだろうか	169名
③ 放射性物質の含有量がゼロではない	108名
④ なんとなく不安	30名
⑤ その他	2名

【問11】 あなたは、食品に記載されている表示内容を信頼していますか。

(回答者 279名)

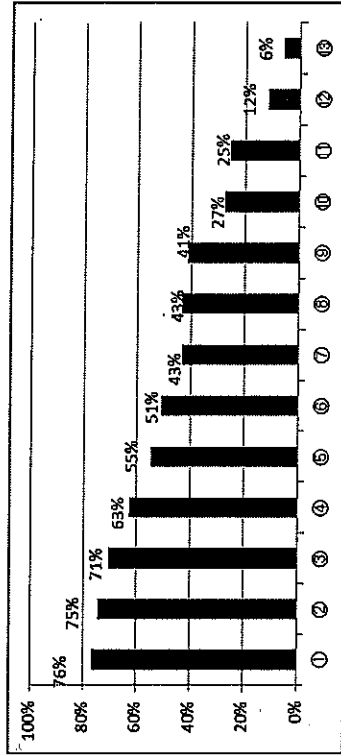
食品に記載されている表示内容を「信頼している」「ある程度信頼している」と回答した人は82%でした。



【問12】 信頼していないのは、どの表示ですか。

【問11】で「あまり信頼していない」「信頼していない」と答えた人に聞きました。

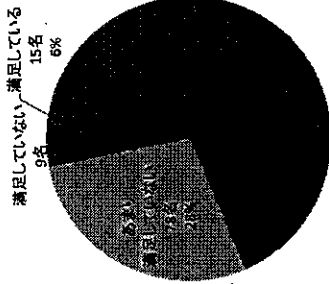
(複数回答、対象者 51名)



① 原産国の表示	39名
② 加工食品の原料原産地表示	38名
③ 食品添加物表示	36名
④ 薬薬を含まないまたは減らしている旨の表示	32名
⑤ 原材料表示	28名
⑥ 遺伝子組み換え食品でない旨の表示	26名
⑦ 消費(賞味)期限表示	22名
⑧ 国内の産地表示	22名
⑨ 有機食品の表示	21名
⑩ アレルギ―物質の表示	14名
⑪ 水産物における解凍、兼種の表示	13名
⑫ 内容量	6名
⑬ その他	3名

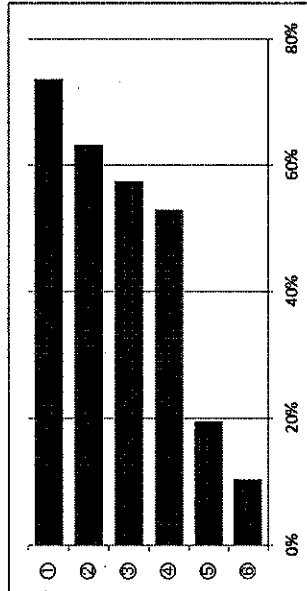
【問13】 あなたは現在の食品表示に対して満足していますか。(回答者 278名)

現在の食品表示に対して、「満足している」ある程度満足している」と答えた人は、全体の69%でした。



【問14】 満足していないのは、どのようなことですか。

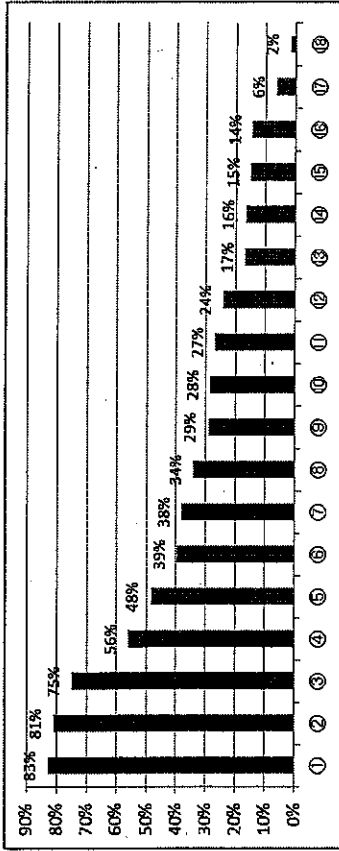
【問13】で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人に聞きました。
(複数回答、対象者 87名)



① 加工食品に指定された食品を除いて原産地表示がない	64名
② 原材料と食品添加物の区別がしにくい	55名
③ 活字が小さい	50名
④ 表示が裏面などにあり見にくい	48名
⑤ 日付表示が分かりにくい	17名
⑥ その他	9名

【問15】 安全な食品の確保、安心できる食生活を実現するために、どのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答、回答者 279名)

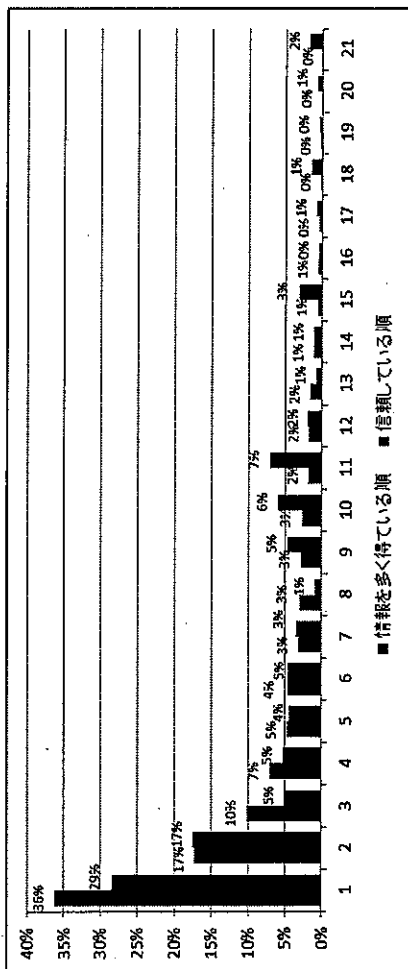
必要な取り組みとして、「食品の製造・加工・調理段階における安全性の確保」「輸入食品の監視・検査の強化」「農畜水産物などの生産段階における安全性の確保」の順に高くなっています。



① 食品の製造・加工・調理段階における安全性の確保	231名
② 輸入食品の監視・検査の強化	226名
③ 農畜水産物などの生産段階における安全性の確保	208名
④ 適正な食品表示の徹底	156名
⑤ 流通・販売段階における安全性の確保	135名
⑥ トレーサビリティ・システムの整備	110名
⑦ 産地消の推進	106名
⑧ 食品の安全性に関する情報の取集・提供	95名
⑨ 食の安全・安心に係る調査研究の推進	81名
⑩ 食言の推進	79名
⑪ 食の安全・安心についての普及・啓発	75名
⑫ 消費段階における安全性の確保	67名
⑬ リスクコミュニケーションの実施	47名
⑭ 消費者・生産者・業者との交流促進	46名
⑮ 食品の安全性に関する相談の受付・苦情への対応	42名
⑯ メニュー表示の徹底	40名
⑰ NPOや食育ボランティア、自主活動組織との協働	18名
⑱ その他	5名

【問16】あなたは食品の安全性に関する情報をどこから得ていますか。(回答者 267名)
 また、どこからの情報が信頼できますか。(回答者 254名)
 (情報を多く得ている順、信頼している順に上位3つ選択, 1番を3、2番を2、1番を1とポイントを付し、合計で記載)

情報を得ているのは、テレビ(ニュース・報道番組)からが36%、新聞からが17%と多く、
 また、得た情報を信頼していました。(テレビ(ニュース・報道番組)29%、新聞17%)



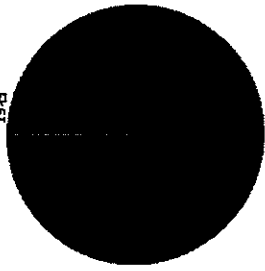
(獲得ポイント/総ポイント)

情報	信頼している順 (%)	情報を多く得ている順 (%)
1 テレビ:ニュース・報道番組	36%	36%
2 新聞	17%	29%
3 テレビ:ワイドショー・情報番組	10%	17%
4 インターネット上のニュースサイト	7%	10%
5 スーパー、小売店	5%	7%
6 テレビ:ドキュメンタリー番組	5%	5%
7 家族・知人	4%	5%
8 雑誌	3%	4%
9 生産者・食品メーカー	3%	3%
10 生協などの協同組合	3%	3%
11 行政(国、県、市町村)	2%	3%
12 ラジオ	2%	2%
13 書籍	2%	2%
14 インターネット上のコミュニティサイト	2%	2%
15 大学・研究機関・研究者	2%	2%
16 特になし	1%	2%
17 その他	1%	1%
18 病院	1%	1%
19 個人のブログ	0%	1%
20 学校	0%	1%
21 NPO・消費者団体	0%	1%

【問17】県では、食品の表示や安全に関する相談や情報を受け付ける、食品安全110番を設置していますが、ご存じでしたか。(回答者 282名)

食品安全110番の設置を知っていた人は7%でした。

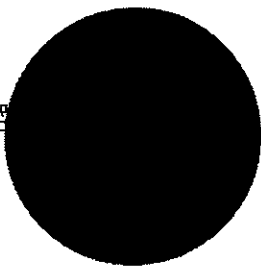
知っていた
19名



【問18】県では、事業者・生産者・消費者・行政が意見交換などを行う「食の安全・安心を語る会」を年3回開催していますが、ご存じでしたか。(回答者 280名)

「食の安全・安心を語る会」を知っていた人は4%でした。

知っていた
11名



【問19】県では、食品の安全・安心に関する情報などをお知らせする情報誌「かいじ号」を年4回発行していますが、ご存じでしたか。(回答者 276名)

「かいじ号」の発行を知っていた人は20%でした。

